

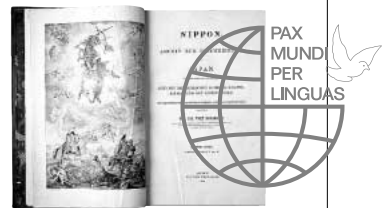
Contents

「私が見た図書館」 永田暁子 ……①	スペイン語圏を知る本(その30)
表紙に掲げられた資料の解説 ……②	「シェリー酒—知られざるスペイン・ワイン」
新入生の皆さんへ	評者 坂東省次 ……⑬
「情報発信型図書館としての本学図書館」	中国のほんの話(24)
上野義和 ……③	「『藍』色物語」 蔭山達弥 ……⑰
学生時代と図書館47	「日本・イタリア交渉史雑話」 東光博英 ……⑯
「私の一生を決めた本」 赤野一郎 ……④	「図書館のこんなこと知らなかった③」
「世界をみつめて アイルランド探訪1—ダブリン—」	川勝万規子 ……⑱
澤田俊明 ……⑤	ご存知ですか?「図書館の検索端末」 ……⑲
新入生のための図書館利用案内	図書館の素朴な疑問コーナー ……⑳
情報サービス課 ……⑥	マガジンラック(22)
オフィス・インフォメーション ……⑧	知っていますか?図書館の雑誌 栄 咲子 ……㉑
寄贈図書案内 ……⑨	書店関係者をお願いするページ
司書雑感	「出版業界の物流改善…図書館に本が並ぶまで」
特徴ある本学図書館の資料検索システム	平本敏道 ……㉒
「主題別書誌データベース」 奥 正敬 ……⑩	書評「衝突を超えて～9・11後の世界秩序 K・ブース/ S・ダン 編 寺島隆吉 監訳」
報道にみる本学図書館	粕谷裕介 ……㉓
新聞と雑誌のヘッドライン2003 ……⑬	「カンボジア王国の過去と現在」 駒井隆夫 ……㉔
平成16年度 図書館ガイダンス ……⑭	新着図書紹介
インターミッション(12)	「現代社会を見つめて」 石美真也 ……㉕
「パソコンの常識・非常識」 宮杉 浩 ……⑮	Book Review Corner ……㉖
海外の図書館レポート⑬ 梁 濟邦 ……⑮	ライブラリー・カレンダー2004(4月～6月) ……㉗
「ドイツ文学わき道散歩(8)」 小林ゆかり ……⑮	4～5月のピックアップコーナー
	「イランとペルシャ」 中間ゆみ ……㉘

表紙に掲げられた資料の解説

SIEBOLD, P. F. von
Nippon
3vols, Leyden, 1852

シーボルト『日本』



著者であるフィリップ・フランツ・フォン＝シーボルト(1796-1866)は、ドイツのバイエルンのヴェルツブルグで生まれた。1822年にオランダ東インド会社の医者となり、1823年に長崎出島のオランダ商館医として来日した。来日後すぐに、日本における医学及び博物学の研究を始め、日本人のための診療も行った。また鳴滝塾を設けて多くの日本人に、西洋医学や一般科学を教えた。

1826(文政9)年、商館長の江戸参府に同行し、日本各地の歴史・地理・動植物などの資料を集めた。1828(文政11)年の帰国に当たり、国禁を犯して高橋景保より受取った地図などを携行しようとしたことが発覚し、1829(文政12)年、日本を追放されて本国に帰った(シーボルト事件)。1859(安政6)年に再来日し、1861年には幕府の外交顧問となったが、翌1862年、ドイツ本国に帰りミュンヘンで没した。

本書は1852年に出版されたドイツ語版の初版本で、内容は7編に分けられ、日本に関する研究が記述されている。文中には、日本への旅行や長崎出島での生活、江戸参府旅行などの記録を含み、ロイヤル・フォーリオと呼ばれる図版集には多くの挿絵や地図などが添付されている。

本書は当時の優れた地誌的著作であり、日本における洋学発達上、重要な役割を果し、欧米諸国に日本の事情を伝える上でも大きく貢献していたのである。

原寸 テキスト 39.2×29.5cm
図版 59.4×38.1cm

『洋書百選』(1972年本学図書館刊行)より抜粋し、加筆。